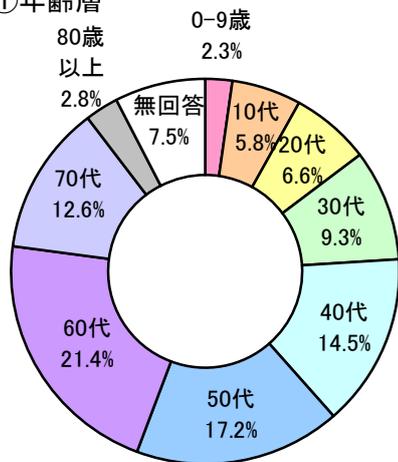


特別展「法然と親鸞 ゆかりの名宝」 アンケート集計結果

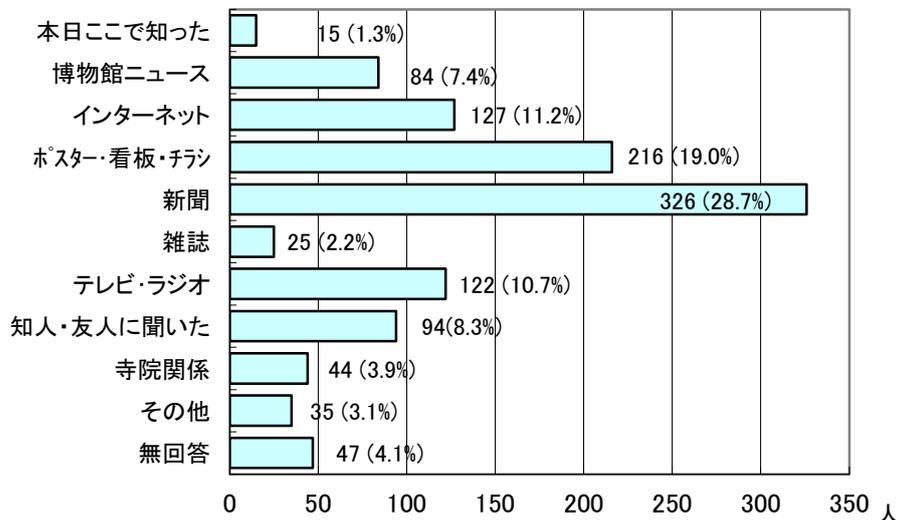
開催期間：平成23年10月25日（火）～平成23年12月4日（日）（36日間）

回答者数：3,007人（総入館者数：212,150人 アンケート回収率：1.42%）

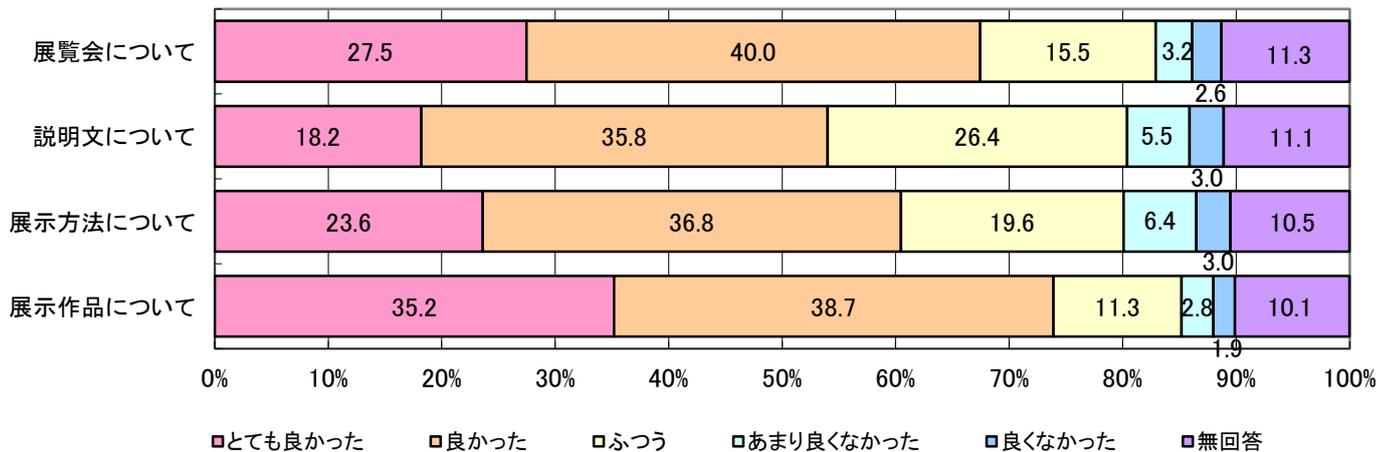
①年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・良かった。面白かった。素晴らしかった。感動した。
- ・仏像の展示が良かった。
- ・書の展示が良かった。（うち、「法然と親鸞の直筆の書が良かった。」「歎異抄が良かった。」「本願寺三十六人家集が良かった。」という意見を含む。）
- ・法然と親鸞についてよく分かった。
- ・音声ガイドが分かりやすかった。
- ・書などは読めないところも多く内容が分からないので、書下し文や現代語訳、注釈をつけてほしい。
- ・法然と親鸞、浄土宗と浄土真宗について、もっと掘り下げた展示をしてほしかった。

本展覧会は、鎌倉仏教の二代宗祖、法然と親鸞の全体像と一緒に紹介した史上初の展覧会で、国宝・重要文化財約90点を含む、一級品の美術品を約180件を紹介し、約21万人のお客様にご来場いただきました。

展覧会については、約68%の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な評価をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で「書などは読めないところも多く内容が分からないので、書下し文や現代語訳、注釈をつけてほしい。」といったご意見もいただきました。今後も、お寄せいただいたご意見・ご感想を参考に観覧環境の改善に努めてまいります。

たくさんのご意見・ご感想をいただき、誠にありがとうございました。